

## 議案第1号

# 天橋立を世界遺産にする会 平成30年度事業報告

## 1 研究及び普及啓発事業

天橋立の調査研究を実施し、国際的な理解・評価の向上に努めるとともに、天橋立の世界遺産登録運動の次なる展開に向けて、先進地での取組を学び、実践につなげるために講演会を実施した。

### (1) 天橋立世界遺産講演会【行政と共催】

暫定一覧表記載に向けた契機とするため、学識者を招いて講演会を開催。天橋立の魅力と、未来に継承し守り育てていくべき地域の宝であることを再認識するとともに、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を例として、世界遺産登録への道のりや地域の取り組みについて学んだ。

日 時：平成31年2月24日（日） 午後1時30分から4時

会 場：ホテル北野屋

参加者：約100名

内 容：講演1「世界遺産登録へのケース・スタディー ―イギリス、ノーフォーク州海岸部の先史考古学―」

アンドリュー・ハッチソン（ノーフォーク州環境マネージャー）

講演2「世界文化遺産を巡る情勢について」

鈴木地平（文化庁文化資源活用課調査官）

### (2) 現地視察および意見交換会【行政と共催】

天橋立世界遺産講演会の開催に先立ち、講演会講師、天橋立世界遺産登録可能性検討委員会委員、行政関係者による構成遺産候補地の視察と意見交換会を実施。

日 時：平成31年2月23日（土）、24日（日）

場 所：ホテル北野屋ほか



現地視察（2月23日）



意見交換会（2月24日）



講演会（2月24日）

### (3) 天橋立世界遺産登録可能性検討委員会【京都府主催】

京都府が事務局を務める天橋立世界遺産登録可能性検討委員会に出席。

日時：平成31年3月25日（月） 午前10時から12時

会場：京都平安ホテル

内容：(1) 委託研究「天橋立が日本の文学等に与えた影響の調査」の成果と今後の研究課題  
(2) 天橋立世界遺産登録可能性検討委員会の改組

## 2 PR事業および会員募集

本会の活動や、天橋立の価値や世界遺産登録の意義を、関連団体と連携してPRするとともに、会員募集を行った。

### (1) 関連団体、イベントとの連携およびPR活動

関連団体との連携や、関連イベントへの参加を通じてPRを行うとともに、会員募集を実施。

- ・クリーンはしだて1人1坪大作戦  
☆平成30年4月15日（日） 参加者：約800人
- ・ICOM（国際博物館会議）舞鶴ミーティング2018  
☆平成30年10月1日（月）  
☆ユニセフと関連をもつICOM（国際博物館会議）において国際委員会委員長ほか  
約70名に資料配布（※荒天のため現地案内は中止）
- ・宮津市文化祭 歴史資料館特別開館  
☆平成30年11月2日（金）から4日（日）  
☆BS朝日「谷村新司のニッポンのザンテイ世界遺産の旅」放映及びパンフレット配布、  
会員募集（来館者：250名）
- ・クリーンはしだて1人1坪大作戦 第12回迎春天橋立一斉清掃  
☆平成30年12月9日（日） 参加者：約1000人
- ・関西プレゼンツ「世界文化遺産」等発信事業 百舌鳥・古市古墳群登録応援PRイベント  
☆平成31年1月5日（土）、6日（日） 大阪駅アトリウム広場  
☆パンフレット配布

※ 天橋立ツアーウォーク（9月29日、30日）でも会員募集等を計画したが、荒天のために中止。

### (2) メディア等を通じたPR活動

本会の活動、天橋立の価値や世界遺産登録の意義等を、各種メディアを通じてPRした。

- ・情報誌『旅楽』2017年冬号、2018年春号に情報掲載  
     ☆西日本の主要なSA、道の駅などで配布（5万部）
- ・BS朝日「谷村新司のニッポンのザンテイ世界遺産の旅」取材協力  
     ☆平成30年9月2日（日）午後9時から10時54分  
     ☆天橋立を世界遺産にする会（今井、小田、海部）出演
- ・HPサーバーの外部委託

### （3）グッズ等によるPR活動

シンボルマーク等を活用したグッズ等を作成して、新規会員等に配布するなどのPRを行った。

- ・普及パンフレットの改訂・増刷  
     ☆特別名勝「天橋立」（日本語版）の表紙デザイン等を改定し、増刷（25,000部）。
- ・グッズ（クリアファイル）の追加作成（2,000部）
- ・パーキングはままち壁面パネルの設置（継続）
- ・「天橋立を世界遺産に」看板の設置（宮津高校、橋立中学校：継続）



### 3 その他 「会員1万人運動」の実施

世界遺産登録推進に向けた取組を継続していくため、平成24年度より、個人会費を無料とし、地域内外を問わず大人から子どもまで広く会員募集を行うこととし、1万人の会員登録を目標とする。また、団体会員は従来どおり一口10,000円以上の会費をお願いし、会の運営安定化につなげるとともに、地域団体が一体となった推進活動の展開を図った。